

令和6年度 学校園評価(学校関係者評価)シート

学校名	加古川市立加古川養護学校
-----	--------------

1 教育目標	一人一人の個性や可能性を伸ばし、たくましく生きる力を育む
--------	------------------------------

2 指導目標					
○自立する能力の育成	○自立活動の充実	○交流学习、体験学習の充実	○進路指導の充実	○安心・安全な学校づくり	○教職員の資質向上

評估基準

A: できている

B: だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E : わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
自立する能力の育成	ICT機器の積極的な活用による指導方法の工夫改善	C	各学部にてICT相談担当を配置したり、研修会を開いたりする。また、クロムブック等の実践例などについても共通認識を図る。
自立活動の充実	安全かつ効果的な「身体学習」の実施	B	夏休みに行う身体学習会をより充実させ、スーパーバイザーに子どもの実態に応じた一言を受ける機会を引き続き作る。
交流学习、体験学習の充実	魅力ある学校行事の実施	A	行事の目的をより明確にし、子どもたちの実態に合った活動内容を引き続き検討する。
	交流・共同学習の推進	B	今年度から、居住地校交流等を再開した。引き続き、交流学习の意義を踏まえ、積極的な対面での交流学习を進めていく。
進路指導の充実	キャリア教育の推進	C	進路の研修や施設見学等の目的や意義について、再度確認し、日々の指導等にどのようにつなげられるかの研修を改めて設定する。
安心・安全な学校づくり	新たな情報配信システム導入による「学校の見え方」	A	引き続き、学校生活の様子や取組をタイムリーに発信することで、保護者や地域住民が学校の活動をより身近に感じられるよう努める。
教職員の資質向上	専門性と実践的指導力の向上	A	専門的研修(校内授業研究会等)を実施したり、他校の研究会に積極的に参加しやすい体制づくりに努め、専門性の向上を図る。

自己評価の適切さ（学校関係者評価）	達成状況
適切に評価できている。本校は今年度より Chromebookを教員に貸与。そのような中でも、子どもの実態に合った多様な使い方の工夫等、教育委員会と共に活用方法の確立を目指してほしい。	A
適切に評価できている。摂食指導の評価が高いことは素晴らしい。自立活動が、子どもたちの社会参加につながるとても大切な部分であることの認識をより一層高めてほしい。	A
適切に評価できている。ボランティア等、社会福祉協議会としても連携を図り、子どもたちにとってもよい行事となるよう協力していきたい。	A
適切に評価できている。交流については、参加することが目的ではなく、子ども同士のやりとりができているかが重要である。	A
適切に評価できている。重度な子どもの実態にあったキャリア教育とは何かを明確にしていく必要がある。	A
適切に評価できている。より業務効率化を図り、業務改善等に努めてほしい。	A
適切に評価できている。市内全教員が一度は特別支援学校勤務を経験するべきである。	A